

クラウドとサーバーの安全性比較

～クラウドを危険だと感じていませんか？～



会社概要

会社名 株式会社アプリップリ

本社所在地 福岡県嘉麻市山野875-2

子会社 applippli Myanmar

事業内容

クラウドプラットフォーム
モジュール設計・開発
アプリ設計・開発
フィンテック（地域通貨）

ライセンス等



経営理念

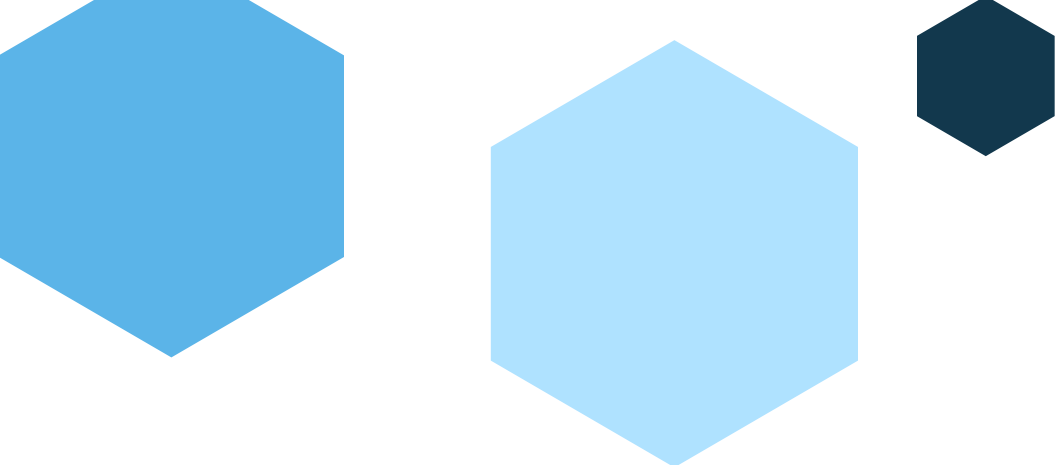
「お役立ちと安心」をまじめに提供する

コーポレートミッション

「雇用の拡大と流通の増加」

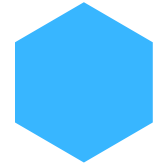
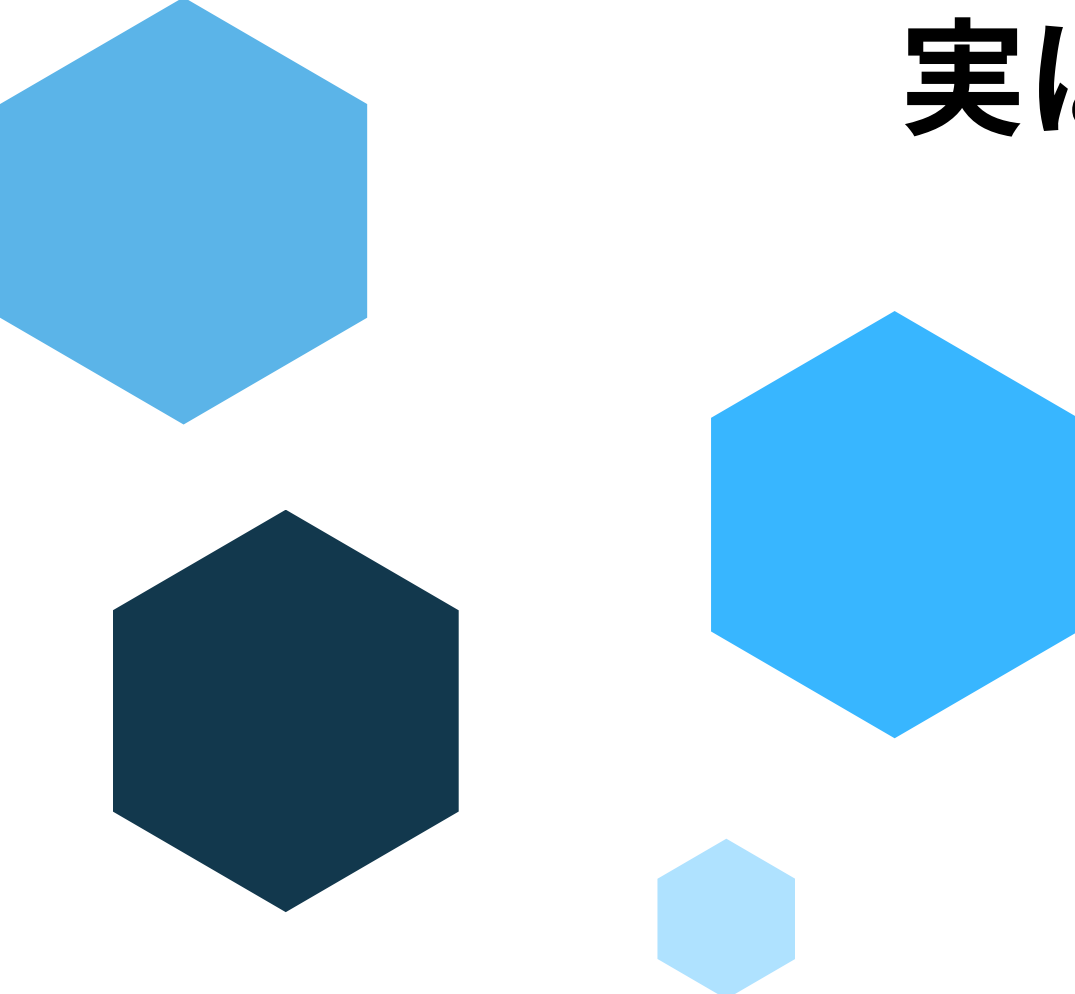
弥生株式会社様の認定パートナー

約30年にわたり弥生株式会社の販売・開発・教育認定パートナー企業として、様々な業界の弥生製品の導入・支援のみならず、稼働に必要なサーバーやネットワークの構築、連動モジュール開発などをおこなってきました。



クラウドってウイルス感染するリスクがあって危ないんじゃないや...
といったイメージをお持ちの方

実はそのイメージ間違ってます！！



クラウドとは

クラウドは、インターネットなどのネットワーク経由で、サービスを提供する形態のことです。自分のパソコンやスマートフォンからでも、どこでもデータやアプリケーションにアクセスできるため、柔軟で効率的な運用が可能です。身近にあるもので例えると、iCloudやGmailがクラウドです。

パソコン本体に 写真のデータを保存する場合



保存したパソコンからしか写真は
見ることができない

クラウド上に 写真を保存した場合



クラウドのアカウントにログインできれば
どの機種からでも写真の閲覧が可能！

クラウド化のメリット

1 ITなどの技術が不要



クラウドは、サーバーやネットワーク機器などの運用管理をクラウド事業者が行うため、**自社で運用管理を行う必要がありません**。これにより、運用担当者の**人件費や設備投資を削減**することができます。また、クラウド事業者が最新の技術やセキュリティ対策を常に提供してくれるため、自社で運用管理を行うよりも運用負担を軽減することができます。

2 場所が固定されない



クラウドは、利用状況に合わせてリソースを追加・削除できるため、**ビジネスの拡大や縮小に合わせて柔軟に対応することができます**。また、インターネット環境さえあれば、どこからでも利用できるため、外出先やご自宅からでもご利用いただけます。

3 安全



物理的にサーバーを設置する必要がないため、導入スピードは格段に速くなります。
弊社のアプリクラウドであれば、**最短3営業日**で導入することが可能です。

クラウドが安全な理由

現在世界的に使われているクラウドが3つあります。

- ① Microsoftが提供する「Microsoft Azure」
- ② Amazonが提供する「AWS」
- ③ Googleが提供する「Google Cloud」

これらの3つのクラウドは、各々が所持している巨大なデータセンターを複数拠点に分散して配置しています。そのため、仮に1つのデータセンターが地震や落雷で倒壊しても、他のデータセンターにデータが残る仕組みになっており、滅多にデータが破損することはありません。

さらに、このデータセンターの所在は公開されていないため、複数面で安全であると言えます。

データの監視や暗号化は24時間365日行われていることから、アメリカ軍の国防省も同等のセキュリティの仕組みを採用しています。これらのことから、クラウドはかなり安全と言えます。

Microsoft Azureについて

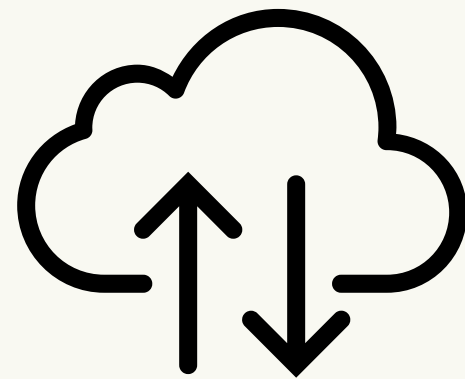


Microsoft Azureには、多層のセキュリティ機能があるため、高い安全性を実現しています。まず、物理的な保護に関しては、Microsoftは世界中でデータセンターを保有し、**24時間365日のセキュリティ監視が行われています。**

また、データの暗号化に関しては、**Azureによって自動的に暗号化が行われます。**加えて、Azureはアクセス制御のための機能を豊富に備えており、ユーザー自身が細かい設定をすることで、必要な人だけがアクセスできるようにすることができます。

さらに、Azureは定期的な脆弱性診断やペネトレーションテストを実施し、**常に最新のセキュリティ対策を行っています。**これらのセキュリティ機能により、Microsoft Azureは企業の重要なデータを安全に保護することができます。

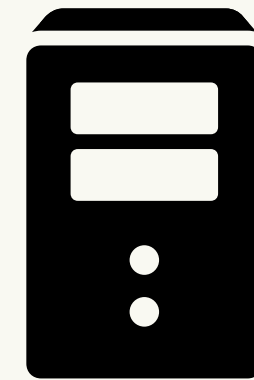
クラウドとサーバーの安全性の比較



クラウド

クラウドは、セキュリティ対策が自動化されているため、**専門的な知識やスキルがなくても比較的安全に利用できます**。また、複数のデータセンターに分散してデータを保存しているため、**災害対策にも優れています**。

ただし、データの所有権はクラウド事業者に移るため、データの流出や改ざんなどのリスクがあります。また、データの可用性や信頼性は、サービス提供事業者に依存するため、万が一の事態に備えて、自社で対策を講じておく必要があります。**対策として、バックアップを取得すること**が挙げられます。



サーバー

サーバーは、データの所有権が自社にあるため、**データの流出や改ざんなどのリスクを低減できます**。また、カスタマイズ性に優れているため、自社のニーズに合わせてセキュリティ対策を強化することができます。

ただし、セキュリティ対策を自社で行う必要があるため、**専門的な知識やスキルが必要**です。また、災害対策も自社で行う必要があるため、コストや手間がかかります。

結論

クラウドは、インターネット上にあるため安全性が低いと思われがちですが、クラウド環境を提供している会社は徹底的に情報漏洩の対策を行っているため、むしろ安全ともいえます。しかし、情報漏洩のリスクがない訳ではないので、強力なパスワードの設定や、バックアップ取得、データの暗号化など各自で対策を行うことは大切です。

アプリックリクラウドは、Microsoft Azureの環境を利用しており、
世界水準の安全性の下、稼働しております。
もしお困りごとがございましたら、お気軽にご連絡くださいませ！



applippli
アプリップリ

会社HP : <https://applippli.co.jp/>

商品HP : <https://applippli.com/>

Mail : sc-support@applippli.co.jp

TEL : 050-5530-6203